

鹿児島県漁海況週報

平成21年7月9日発行(7月2日～7月8日)
第2312報(旧暦:5月10日～5月16日/月齢9.3～15.3/潮汐:長潮～大潮)



鹿児島県水産技術開発センター
〒891-0315 指宿市岩本字高田上160番10号
TEL:0993-27-9212, FAX:0993-27-9218
HP: http://kagoshima.suigi.jp/

【海況】

黒潮北縁域(薩南～トカラ群島海域)

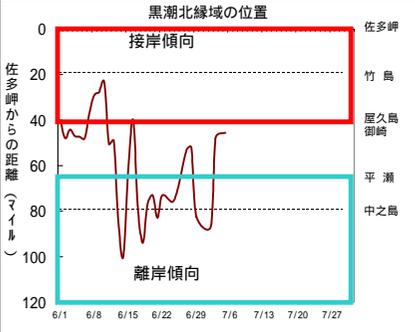
黒潮北縁域は7月5日現在、屋久島御崎の南4.6マイル付近にある。

黒潮流軸(種子島東)

種子島東の黒潮流軸は7月8日現在、55マイル付近にある。

定期船等による表面水温

各海域の表面水温は、先週と比較して、全海域で0.1～1.8 昇温した。平年比較では、竹島で“かなり低め”、笠利崎で“やや低め”となった他は“平年並み”となった。



表面水温

定点名	実測値	先週比較	平年比較	評価
黒潮流域	28.4	+0.9	-0.2	平年並み
鹿児島	25.1	+0.8	-0.2	平年並み
佐多岬	24.8	+1.4	-0.3	平年並み
竹島	24.3	+1.0	-1.8	かなり低め
屋久島御崎	26.5	+0.3	-0.4	平年並み
中之島	28.0	+1.8	+0.1	平年並み
笠利崎	27.1	+0.1	-0.6	やや低め
与路島	26.9	+0.9	-0.1	平年並み
与論	27.8	+0.9	-0.1	平年並み
甌海峡	25.2	+0.8	+0.0	平年並み
甌島西	-	-	-	-

鹿児島 - 那覇定期客船観測は7/5～7/7
串木野 - 甌定期客船観測は7/8
甌島西(浮魚礁)観測は欠測

【漁況】

定置網

甌海域では、ケンサキカ(200g)が40kg/日の入網。西薩南部海域では、マルソウダ(500～700g)が1.5～3.0トン/日、オキヒラキ(5cm)が0.1～1.0トン/日、マアジ(100g)が300kg/日の入網。鹿児島湾口部薩摩半島側では、コマサハ(500～700g)が1トン/日、マアジ(100～300g)が1.0～3.5トン/日、ハマエビ(1.5～3.0kg)が1日のみ2トンの入網。鹿児島湾口部大隅半島側ではマルソウダ(300～500g)が1日のみ7トンの入網。大隅半島東部海域では、週計で55統がウルメイワシ、マアジ小、カマス主体に47トンの入網。志布志湾南部海域では、週計でマアジ中、マアジ小、カクチイワシ主体に17.9トンの入網。

キビナゴ刺網

甌海域では、2～9箱/隻・日の漁。西薩南部海域では、1～2箱/隻・日の漁。鹿児島湾口部大隅半島側では1～2箱/隻・日の漁。

トビウオロープ曳

種子島海域では、小ビを150箱/統・日、中ビを50箱/統・日の漁。屋久島海域では、小ビを25箱/統・日の漁。

(まき網、棒受網、カツオ単釣の漁況は下記の表に記載しています。)

業種別・漁港別水揚げ状況

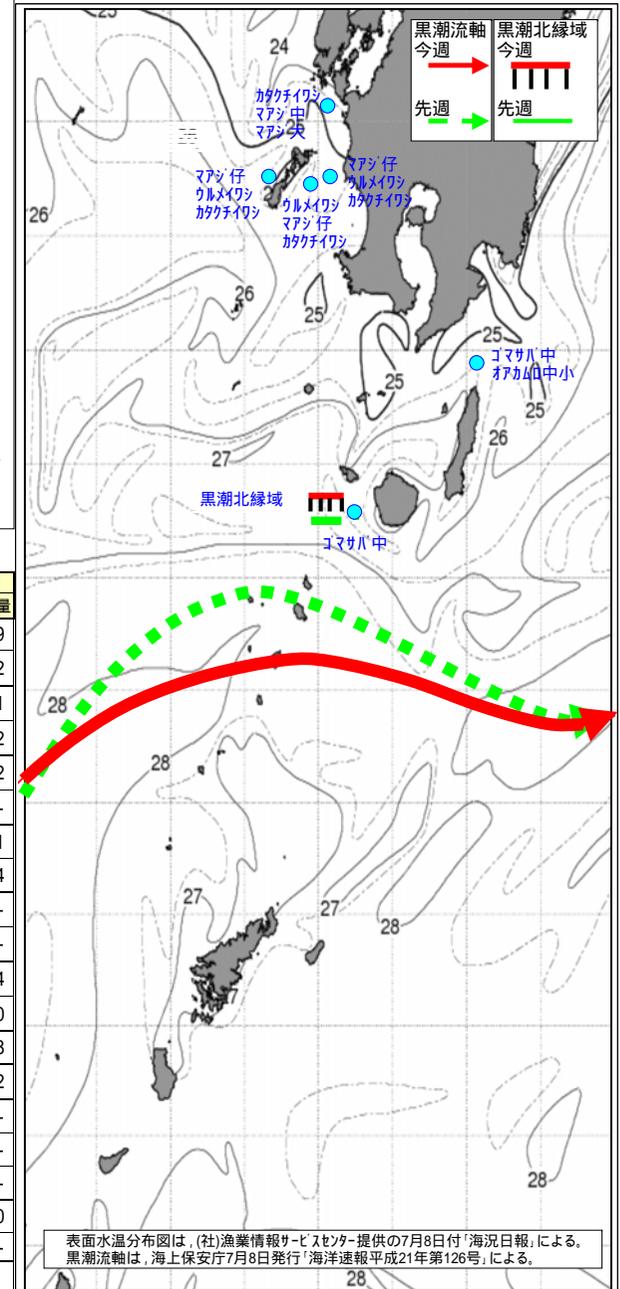
漁業種類	漁港	隻数	漁獲量(トン)	漁場	魚種組成(%)	1日1統	評価	前年同期(第2263報)					
								前週	前年同期				
旋網	阿久根	大	1	2	天草沖	マアジ仔46	マアジ小24	イサキ17	1.6	0	-	3	39
		中	12	102	甌西 甌東 長島 串木野沖	マアジ仔39	ウルメイワシ38	カクチイワシ16	8.5	13	77	33	262
	枕崎	大	1	11	種子島北	コマサハ中96			11.2	10	533	7	51
		中	13	315	種子島北 屋久島西	コマサハ中81	オアカム015		24.2	20	891	20	282
	内之浦	中	0	-					-	0	-	1	2
	山川	中	0	-					-	0	-	0	-
計	大	2	13					6.4	10	533	10	91	
	中	25	418					16.7	33	968	54	544	
東海旋網	阿久根	0	-					-	0	-	0	-	
	枕崎	0	-					-	0	-	0	-	
棒受網	阿久根	98	168	阿久根沖 長島	ウルメイワシ64	カクチイワシ36		1.7	好調	91	137	131	104
	内之浦	5	8					1.6	5	11	28	50	
定置網	内之浦	55	47						56	45	56	68	
刺網	阿久根	大	0	-				-	0	-	0	-	
		小	0	-				-	0	-	0	-	
	海旋	大	2	836		カツオ中49	カツオ小33	カツオ大11	418.0	0	-	0	-
		中	0	-					-	0	-	7	50
	山川	中	0	-					-	0	-	0	-
	瀬戸内	小	0	-					-	0	-	0	-

パッチ網

西薩海域では、0.5～2トン/統・日の漁。志布志湾海域では、フリマを製品で1.5トンの入札があった。

その他

甌海域では一本釣りでケンサキカ(200g)を5～30kg/隻・日の漁。西薩海域では、ごち網でマタイ(0.2～1kg)を10～30kg/隻・日、曳縄でサワラ(1kg)を10尾/隻・日、延縄でトヨタイ(200～600g)を10～20kg/隻・日、ソイトヨリ(100～250g)を10～30kg/隻・日、フグ籠でサバク(300～400g)を100kg/隻・日の漁。西薩南部海域では、ごち網でマタイ(300g)を30kg/隻・日の漁。大隅半島南部海域では、一本釣りでイサキ(500g)を10kg/隻・日、潜水器漁業でトサカリを3トン/日の漁。大隅東部海域では小型底曳網でトヨタイ(100～200g)を50～200kg/隻・日、ハモ(600～700g)を100～200kg/隻・日、ソイトヨリ(200g)を20～30kg/隻・日の漁。種子島海域では曳縄でハガツオ(2～3kg)を50kg/隻・日、一本釣りでアオリイカ(1～3kg)を10～60kg/隻・日の漁。屋久島海域では一本釣りでコマサハ(600g)を40～100尾/隻・日、アオタイ(700～800g)を20～30kg/隻の漁。奄美南部海域では、一本釣りでクサツオ(2～3kg)を2日操業で10～20kg/隻・日の漁。



表面水温分布図は、(社)漁業情報サービスセンター提供の7月8日付「海況日報」による。
黒潮流軸は、海上保安庁7月8日発行「海洋通報平成21年第126号」による。